

衝撃波シンポジウム講演論文集原稿書式の見本（12 ポイント以上）

衝撃太郎、緩和花子（群馬大工）

How to Prepare the Paper for the Symposium on Shock Waves, 2002 JAPAN （12 ポイント以上）

SHOUGEKI Taro and KANWA Hanako

School of Engineering, Gunma University, 1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma, 376-8515 JAPAN

Abstract

This is the manual for how to prepare your manuscript for the Symposium on Shock Waves, 2002 JAPAN. All the final drafts should be written by word processors with the format specified in this manual. Your final draft in a form ready for photo-printing must arrive at the program office by 24 January, 2003. Any questions regarding this manual should be addressed to the program office.

Key Words : Shock Wave, ...

1. はじめに

これは平成14年度衝撃波シンポジウム講演論文集原稿の見本です。前回まではB5判縮刷にあわせて原稿作成をお願いしていましたが、今回はA4判の講演論文集にあわせて書式を変更いたしました。また、提出された原稿はそのまま写真製本用原稿として使用しますので、原稿フォーマットにしたがって作成してください。

著者および講演者は、衝撃波研究会会員であることが望ましいです。また、シンポジウム参加者が、研究の内容を十分理解し、討論できるようなものとして下さい。主要な研究成果は必ず記述して下さい。「実験結果は講演会場において発表する」などの表現では不十分です。

2. 原稿フォーマット

2-1 題目、著者名等

題目、著者名（講演者名と順序を含む）は、申し込み時と同一のものとして下さい。登壇者氏名の左側に印を付けて下さい。

2-2 原稿サイズ

講演原稿は、A4判（210mm×297mm）の白紙に、ワードプロセッサかタイプ印書（黒に限る）を使用して作成して下さい。

2-3 規定ページ数

原稿は2ページあるいは4ページです。必ず超過や不足が無いようにして下さい。

2-4 余白

左右各約23mm、2段組中央約7mm、上下約25mmの余白をとってください。ただし1ページ目の上余白は約30mmとします。

2-5 字の大きさ、字体

題目：12ポイント以上

本文：9～10ポイント

日本語字体：明朝体

英語字体：Times New Roman

2-6 原稿の体裁

題目は、その長さに応じて2行分または3行分のスペースをば中央に書いて下さい。氏名は、題目の下にば中央に書き、その右横に所属を8字程度に略記し、括弧でくくって下さい。その下に英語題目をば中央に書き、著者名、所属と住所を英文で書いて下さい。さらに英文で講演内容の要旨およびキーワード（3～5語程度）を

書いて下さい。

2-7 図・表

図・表はすべて英文表記とします。図・表は、それを記述した本文となるべく離れないような位置に置いて下さい。図は印刷時に見えにくくならないよう、線は太めに作成してください。図・表のタイトル記入場所は、図の場合は下側、表の場合は上側です。図・表には必ず番号とタイトルをつけてください。また、図の各軸には必ず変数名を記入してください。原稿にカラーの図を使用しても講演論文集の印刷は白黒になります。

2-8 文献

文献は引用の趣旨をはっきり理解させるようにして下さい。また、本文や図表中の引用箇所には小括弧を付した番号を記入し、末尾の文献との対応を明記して下さい。文献は本文末尾にまとめて下さい。

3. 原稿の提出

コピーを2部作成し、正原稿とともに送付して下さい。

4. その他

原稿用紙の欄外右上端に、鉛筆で「原稿の順序および総ページ数」を明記して下さい。

[例] 1/4、2/4、3/4

5. 原稿の締切

平成15年1月24日（金）必着

締切日を過ぎて提出された原稿は返却いたします。

6. 原稿送付先

〒376-8515

群馬県桐生市天神町 1-5-1

群馬大学工学部機械システム工学科内

平成14年度衝撃波シンポジウム事務局

TEL: 0277-30-1509、FAX: 0277-30-1599

封筒に「衝撃波シンポジウム原稿在中」と朱書